【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年1月29日(2009.1.29)

【公開番号】特開2006-164288(P2006-164288A)
【公開日】平成18年6月22日(2006.6.22)
【年通号数】公開・登録公報2006-024
【出願番号】特願2005-354120(P2005-354120)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　12/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　12/00　　５２０Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成20年12月8日(2008.12.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
電子ファイルシステムによって使用されるデータ構造を格納したコンピュータ可読記録媒体であって、該データ構造は、
前記電子ファイルシステムによって読み取り可能で、複数のアイテムのためのファイル情報を格納するファイル情報テーブルであって、
第１のアイテムのための一意の第１の識別子を格納する第１のデータフィールドと、
前記第１のアイテムのユーザが見ることの可能な名前である第１のファイル名を格納する第２のデータフィールドと、
第２のアイテムのための一意の第２の識別子を格納する第３のデータフィールドと、
前記第２のアイテムのユーザが見ることの可能な名前である前記第１のファイル名を格納する第４のデータフィールドと
を含むファイル情報テーブル、および
前記ファイルシステムによって読み取り可能で、前記複数のアイテムの関係情報を格納する編成テーブルであって、
前記第１のアイテムの親である第３のアイテムの指標を格納する第１のデータフィールドと、
前記第２のアイテムの親である前記第３のアイテムの指標を格納する第２のデータフィールドと
を含む編成テーブル
を含むことを特徴とするコンピュータ可読記録媒体。
【請求項２】
前記ファイル情報テーブルは、
前記第１のファイルのための第１のあいまい性除去識別子を格納する第５のデータフィールドと、
前記第２のファイルのための第２のあいまい性除去識別子を格納する第６のデータフィールドと
をさらに含み、前記第１および第２のあいまい性除去識別子は一意であることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ可読記録媒体。
【請求項３】

各々の記あいまい性除去識別子は一意の整数を含むことを特徴とする請求項２に記載のコンピュータ可読記録媒体。
【請求項４】
前記ファイル情報テーブルと前記編成テーブルは別個のものであることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ可読記録媒体。
【請求項５】
前記第１のファイル名は名前がないことを特徴とする請求項１に記載のコンピュータ可読記録媒体。
【請求項６】
電子ファイルシステムにデータを格納する方法を実施するためのコンピュータ実行可能な命令を格納するコンピュータ可読記録媒体であって、該命令は、
（ａ）　前記電子ファイルシステムに格納された第１のアイテムのための第１の一意の識別子を前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｂ）　前記第１のアイテムのユーザが見ることの可能な名前である第１のファイル名を前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｃ）　前記ファイルシステムに格納された第２のアイテムのための第２の一意の識別子を前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｄ）　前記第２のアイテムのユーザが見ることの可能な名前である前記第１のファイル名を前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｅ）　前記第１のアイテムの親である第３のアイテムを識別する第１の保持リンクを前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｆ）　前記第２のアイテムの親である前記第３のアイテムを識別する第２の保持リンクを前記ファイルシステムに格納するステップと
を含むことを特徴とするコンピュータ可読記録媒体。
【請求項７】
前記命令は、
（ａ）　前記第１のアイテムのための第１のあいまい性除去識別子を格納するステップと、
（ｂ）　前記第２のアイテムのための第２のあいまい性除去識別子を格納するステップと
をさらに含むことを特徴とする請求項６に記載のコンピュータ可読記録媒体。
【請求項８】
各々の前記あいまい性除去識別子は一意の整数を含むことを特徴とする請求項７に記載のコンピュータ可読記録媒体。
【請求項９】
前記命令は、
（ａ）　前記第１のあいまい性除去識別子に基づいて、前記第１のアイテムの完全に限定されたパスを生成するステップ
をさらに含むことを特徴とする請求項７に記載のコンピュータ可読記録媒体。
【請求項１０】
前記命令は、
（ａ）　前記第１のあいまい性除去識別子に基づいて、前記第１のアイテムへのルートパスを生成するステップ
をさらに含むことを特徴とする請求項７に記載のコンピュータ可読記録媒体。
【請求項１１】
電子ファイルシステムにデータを格納するためのコンピュータ支援による方法であって、
（ａ）　前記電子ファイルシステムに格納された第１のアイテムのための第１の一意の識別子を前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｂ）　前記第１のアイテムのユーザが見ることの可能な名前である第１のファイル名

を前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｃ） 前記ファイルシステムに格納された第２のアイテムのための第２の一意の識別子を前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｄ） 前記第２のアイテムのユーザが見ることの可能な名前である前記第１のファイル名を前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｅ） 前記第１のアイテムの親である第３のアイテムを識別する第１の保持リンクを前記ファイルシステムに格納するステップと、
（ｆ） 前記第２のアイテムの親である前記第３のアイテムを識別する第２の保持リンクを前記ファイルシステムに格納するステップと
を含むことを特徴とするコンピュータ支援による方法。
【請求項１２】
（ａ） 前記第１のアイテムのための第１のあいまい性除去識別子を格納するステップと、
（ｂ） 前記第２のアイテムのための第２のあいまい性除去識別子を格納するステップと
をさらに含むことを特徴とする請求項１１に記載のコンピュータ支援による方法。
【請求項１３】
各々の前記あいまい性除去識別子は一意の整数を含むことを特徴とする請求項１２に記載のコンピュータ支援による方法。
【請求項１４】
（ａ） 前記第１のあいまい性除去識別子に基づいて前記第１のアイテムの完全に限定されたパスを生成するステップ
をさらに含むことを特徴とする請求項１２に記載のコンピュータ支援による方法。
【請求項１５】
（ａ） 前記第１のあいまい性除去識別子に基づいて前記第１のアイテムへのルートパスを生成するステップ
をさらに含むことを特徴とする請求項１２に記載のコンピュータ支援の方法。
【請求項１６】
複数のユーザが見ることの可能なファイルを格納するための電子ファイルシステムを動作させるように構成されたコンピュータ装置であって、前記ユーザが見ることの可能なファイルの少なくとも２つは共通のあいまいなファイル名を有することを特徴とするコンピュータ装置。
【請求項１７】
前記共通のあいまいなファイル名は名前のないファイル名を含むことを特徴とする請求項１６に記載のコンピュータ装置。